

家庭学習の定着のためには、まず、ルールづくりから!

ルールでばっちり! 家庭学習



©岡山県「ももっち」

「家庭学習のルール」を決めて取り組むことで、子どもたちはいつも同じように家庭学習に取り組めるようになるのはもちろん、保護者もサポートがしやすくなるので、学習効果が高まります。

※本県の中学生が「平日の家庭学習は1時間以上」と答えた割合は小学生を下回っています。(平成27年度 全国学力・学習状況調査)から)

「いつ・どこで・どれくらい」が習慣化されるまで頑張りましょう。

学習を習慣化するために!

- 始める時間を決める
- 学習場所を固定する
- 学習量を決める
(「時間」「ページ数」の二つを目安に)

学習場所の整理も大切

- 学習場所の整理整頓
- 学習に必要な物の準備
(教科書、プリント、辞書など)

©岡山県「うらっち」



いつも同じ所に同じ物があれば、勉強の集中を妨げません。

勉強の順番は?

- ① 宿題
- ② 自主学習1 (授業の復習や予習)
- ③ 自主学習2 (子どもが考えた学習)
の順番で取り組むと効果的

学校の勉強(①・②)が、学力の土台づくりに。③は、学習への自主性を育むことにつながります。

その他にも 当たり前のことかもしれませんが、次の日の準備物の点検や学習に使った物の片付けもきちんと行いましょう。また、提出物や宿題などの期限の確認も忘れないようにしましょう。

我が家では・・・

親子で話し合い、ルールを決めました

我が子も中学生になり、部活動や習い事に忙しく、土日にとまどめて宿題をするなど、無計画に勉強をしていましたが、これではいけないと思い、親子で話し合いをしました。学習場所はリビングにして、曜日ごとに学習を始める時間も決め、私もその時間は持ち帰った仕事を一緒にすることにしました。本人の頑張りが見えるだけでなく、勉強中の休憩時間は、学校のことなどについて話をする機会になっています。

宿題を終わらせて、自主学習に取り組ませています

小5になる我が子は、宿題を終えた後、時間があるときは、好きなことを調べてノートにまとめるなど、自主学習も頑張っています。自主学習を始めてから「僕は研究者になりたい」と将来の夢をよく話すようになりました。また、私自身も自主学習ノートを楽しく読んでいて、そのことも子どもは嬉しいようです。

保護者のサポートのポイントはこれ

学習の目的を共有する。

学習習慣が身に付くまでは、ルールにそって学習できているかを、保護者が励ましたり手伝ったりすることが大切です。また、将来の夢を叶えるためなど「何のために学習をするのか」を、家族で一緒に考えましょう。

生活習慣を整える。

家庭学習の習慣を身に付けるためには、「早寝・早起き・朝ごはん」など、規則正しい生活を送ることが何より重要です。スマホやゲーム、テレビ視聴などの「メディアコントロール」のサポートもお願いします。



岡山県「ばっちり!モグモグ」生活リズム向上マスコットキャラクター

家族で協力をする。

子どもが学習する時には、テレビを消したり、家族で読書をしたりと、学習に集中できる落ち着いた環境づくりに、家族でできるだけ協力をしましょう。

家庭学習のヒントがここに

学びのチャレンジコンテストでは子どもたちの自主学習ノートを紹介しています



義務教育課のホームページの「学びのチャレンジコンテスト」では、授業の復習や関心のある内容の調べ学習など、様々な自主学習に取り組んだノートを掲載しています。

学びのチャレンジ

「家庭学習のスタンダード」を配付する予定です。

家庭学習に取り組む際に、保護者がどんな点に気を付けて支援すればいいのかなどをまとめたパンフレットを配付します。学習時間の目安、自主学習の方法、子どもへの関わり方の例などを掲載します。